ギターCD レター from yakateru(第７号)

6号の爪の話には、何人かの方より、「本当に爪は問題だ」との反響？がありました。紹介した雑誌現代ギターも、4月号より、毎月、プロの爪の形の写真が掲載されるようで、とても興味津々です。ということで、今回は、面倒なことの第2弾、「調弦」についてです。……

ギターを弾くということのなんとめんどくさいことか！（その２）

何時までやっても終わらない調弦

大学のギター部の頃の話。50 人から 60 人ぐらいの部員がいたと思う。練習は、ほぼ毎日やっていた？のだろうか、相当に気合が入っていたことは確かである。その毎日の練習が始まる前に、全員のギターの調弦から始まる。これが大変、下手したら 20 分、30 分…。某指揮者さんは、練習時間の半分を調弦に当ててたような記憶がある。オケの音合わせは、本番前のオーボエの A 音から始まる１、2 分程度でおしまい（まあ楽屋でも音合わせはやっているのでしょうが）。ともかく、ギター合奏は大変なのだ、調弦が。個人でも、弦を張り替えたすぐは当然のこと、ちょっと暖かい部屋で弾いていると、すぐに３弦がまず狂ってくる。E と D を行ったり来たりする時の６弦も、すぐに元に戻りたがるので難物。

音階には、純正律と平均律があるのはご存知のこと、？。ギターは、フレットをつけたためピアノと同じ平均律になっている。まあ、ほとんど気にならないで弾いてはいるが、いくらきちんと調弦をしても、Am、Em 系で調弦していると、D コードの和音を鳴らすと、微妙に違和感があるのは、気のせい？合わせたつもりがあっていない？それとも、純正律の聞き分けが出来ている？んなことないか。

さてこの調弦の仕方、いろいろ個人差というか個性がありそう。また、音叉派、チューナー派も。

私は、根っからの音叉派である。それも、みっともないところはあるが、膝で鳴らして、歯で噛む派。これで、A 音が、頭蓋骨にガンガン鳴り響き、かつ両手はフリー状態になるので便利なのだ。ちなみに、孫ちゃんには、このやり方は大ウケで、真似して遊んでいる。

調弦の順番は、次のとおり。

① ５弦を、音叉で合わせる
② ５弦７フレットと１弦
③ １弦と６弦の開放弦
④ ６弦７フレットと２弦
⑤ ４弦を、調弦の終わった弦であわせる。特に、４弦４フレット、１弦２フレットの F#。個人的に、この２音がづれていると我慢できないため特に注目する。
⑥ 最後に、３弦をほかの弦のいくつかの音と合わせる

と２～３分ぐらいで片付けている。

昔は、５弦を音叉であわせたあと、６弦、４弦、３弦、２弦、１弦の順でやっていたが、合わせたつもりがなかなかすっきりしない。これも、平均律の影響？気のせい？

チューナーも持ってはいるが、運転をカーナビに頼るようなもので、自分の耳で確かめるのだという信念？があることと、信用していないこと。以前、某楽器店で、ギターの試奏を若い店員さんにお願いしたところ、調弦しますということでチューナーに合わせてやっていたら、グリグリ弦を巻いて、レキントギターのような音になった。ちょっと違うのではと注意入れても、大丈夫ですと、さらにグリグリと糸巻きを回す。結局、とんでもない状態になって、どうもチューナーが壊れているようだという。

「そういう以前の問題だろうが！あんたの耳はどうなっているんだ！」と喝を入れたい気持ちを抑えて、「いいです、自分でやりますから」とギターを奪い取る。ギターもいい災難だったろう。

先日、レオナルド・ブラーボの演奏会へ行ったときに起きたハプニング。演奏中に、４弦が２音程度急に下がった。さすがにやばいとブラーボ氏、演奏しながら糸巻きを回すが、２音も下がってはどうしようもない。演奏が終わって、すみませんと日本語で謝っていた。（ブラーボ氏は、日本に住んでいることもあって日本語が上手！）でも、逆に、２音も下がったせいで、違和感が比較的少なかった。多くの人はわからなかったのではないか。これは、弦の張り方の問題だったのだが、プロとしてはいかがなものか。（でも、なかなか素敵な演奏会であった）いくら調弦をしっかりやっても、弦を張るときに手抜きをするとこんなこととなるということ。特に４弦は。というのも、実は、私もこの前のサロンの時に、もっとひどい事態を招いてしまったのだ。演奏中に４弦が、ブリッジからすり抜けたのだ。一瞬、切れたと思ったが。

今回も、CD のお薦め紹介がおざなりですみません。ギター合奏団の BACH、その他です。かれらも調弦で苦労しているのかも（続く）

newt on classics

J.S. Bach · Chopin · Debussy · Fauré
arranged for three guitars by the
Amsterdam Guitar Trio

CD 1 58'52

Johann Sebastian Bach
(1685-1750)

1–3 Brandenburg Concerto No.6 in B flat BWV1051 15'51
4–6 Brandenburg Concerto No.3 in G BWV1048 12'11
7–9 Brandenburg Concerto No.5 in D BWV1050 17'35
10–12 Brandenburg Concerto No.2 in F BWV1047 11'31

CD 2 52'03

Claude Debussy (1862–1918)
1–4 Suite bergamasque 15'52

Gabriel Fauré (1845–1924)
5–10 Dolly Op.56 13'44

Claude Debussy
11–13 Petite Suite 13'04

Frédéric Chopin (1810–1849)
14 Rondo in C Op.73 9'37

Tini Mathot *harpsichord* (BWV1050)
Amsterdam Guitar Trio: Johan Dorrestein · Olga Franssen · Helenus de Rijke

TOTAL TIMING · GESAMTSPIELZEIT · DURÉE TOTALE: 110'55

8 718247 710935

DDD Stereo
Recording: 11, 12, 14 & 15 February 1995, Utrecht, Netherlands (CD1);
25–28 September 1995, The Old Catholic Church, Utrecht, Netherlands (CD2)
Producer: Tim Mahler (CD1)
Adriaan Verstoren (CD2)
Recording engineer: Adriaan Verstoren (CD1)

℗ 1995 (CD1), 1996 (CD2) Sony Music Entertainment
© 1996 Newton Classics b.v.

MCPS
Manufactured and printed in the Netherlands

All rights of the producer and of the owner of the work reproduced reserved. Unauthorised copying, hiring, lending, public performance and broadcasting of this record prohibited.

ART DIRECTION & DESIGN
Jan Martin Willshut bno · Amsterdam Hoogvliet
COVER IMAGE
© Leo van Noort

newt on classics

WWW.NEWTONCLASSICS.COM